

質問に対する回答について

工事名) 秋田自動車道 岩見川橋耐震補強工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	特記仕様書(P15) 15-2 建設副産物の処理方法に記載のコンクリート塊約 260m ³ 、アスファルト・コンクリート塊約 4.3m ³ の発生場所・発生要因ごとの内訳をご教示ください。	内訳は設計図を踏まえ算出願います。
2	特記仕様書(P39) 22-22 工事用道路工の敷設板 B は中古品となっていますが、買取と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	その通りです。
3	平尾鳥川橋（上り・下り線）P3 橋脚耐震補強詳細図(その3)根巻詳細図（図番号 23・28）にあるアンカーボルト $\phi 51$ L=1560 は数量総括表に記載がありません。数量をご教示ください。 また、割掛表の非破壊検査試験費の対象にも含まれておりません。併せてご確認ください。	アンカーボルトは耐震補強用鋼板の架設に含まれます。数量については設計図より算出願います。非破壊試験費については、設計図書及び現地状況を確認の上、必要な試験を計上してください。
4	平尾鳥川橋（上り・下り線）P3 橋脚耐震補強詳細図(その3)根巻詳細図（図番号 23・28）において、ブリケットと補強鋼板との溶接は 1353.4m に含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。また、含まれていない場合はその数量をご教示ください。	ご提示のとおり、契約数量に含まれています。
5	奥羽本線橋 A1 橋台 RC 増厚補強配筋図（その2）（図番号 10・12/61）アンカーフィット設置個所（削孔径 $\phi 42$ ）は割掛対象表-非破壊検査試験費（検査前）の対象となると考えますが。ご確認ください	割掛対象表参考内訳書に関する質問は受け付けていません。設計図及び現地状況を踏まえて必要な費用を計上してください。
6	奥羽本線橋 A1 橋台横桁増厚補強配筋図（その1）（図番号 13・12/61）の M22 アンカーフィットによる施工と考えますが、非破壊検査試験費（検査前）の対象となりますか。ご教示ください。	割掛け対象表参考内訳書に関する質問は受け付けていません。設計図及び現地状況を踏まえて必要な費用を計上してください。

7	<p>割掛け対象表参考内訳書-非破壊検査試験費（施工前）の数量内訳（参考）-奥羽本線橋：20 m²とありますが、設計報告書の3-4 奥羽本線橋数量計算書-水平力分担構造（せん断ストッパー）数量計算より、貫通ボルト設置工の鉄筋探査面積は上・下り線で 20 m²となっており、下部工用ブランケット削孔箇所が未計上になっていると思われますが、ご確認ください。また、未計上の場合はその数量をご教示ください。</p>	<p>割掛け対象表参考内訳書に関する質問は受け付けていません。設計図及び現地状況を踏まえて必要な費用を計上してください。</p>
8	<p>単価表、番号 26 表面保護工-コンクリート表面被覆工の仕様をご教示ください。</p>	<p>共通仕様書 17-11 に記載のとおりです。</p>
9	<p>特記仕様書 22-17 (P33) 支承取替工の沓座コンクリートはつりの施工方法はウォータージェットによると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>発注図書及び現地状況を踏まえて施工計画を立案願います。</p>